

3. 3 増幅スペクトル

10 gal以上の強震記録が得られたうちの4地震10観測点について、増幅スペクトルを示すと図3.3.1～図3.3.9の通りである。

これらのデータ比は観測点の浅い地点と深い地点のフーリエ変換を行い周波数0.2ピッチ±0.2範囲で平滑化処理を行った値で観測点の浅い地点から深い地点を割った値をグラフ化したものである。

観測点ごとのNS成分、EW成分、UD成分を1組として表示している。縦軸は増幅率、横軸は振動数(Hz)としている。

なお、3成分の応答倍率には、ヘッダーとして地震番号、地震諸元、地区名、観測所名、感振器番号を付しており、検索の助けとしている。

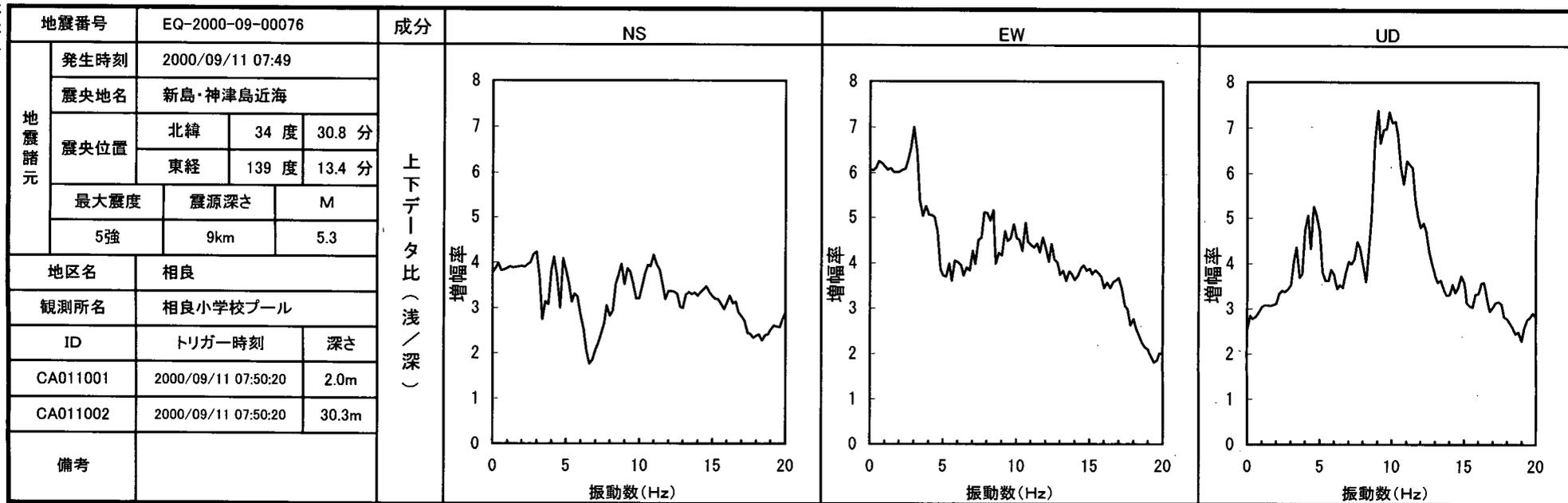
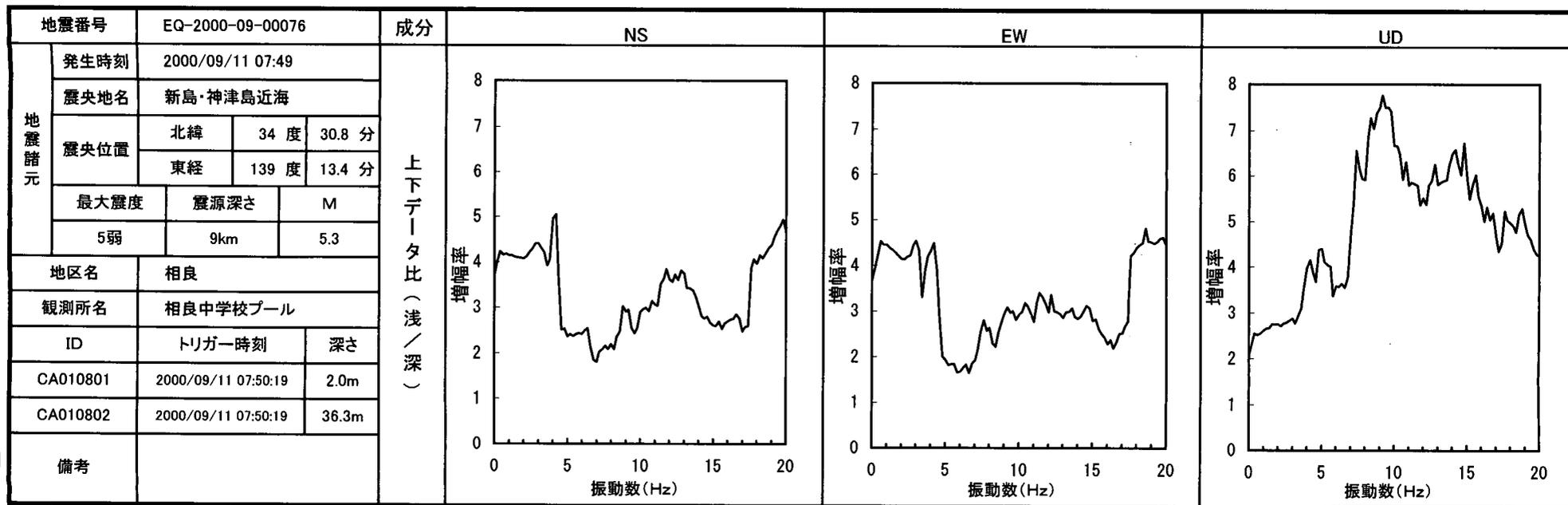


図3.3.1 応答倍率

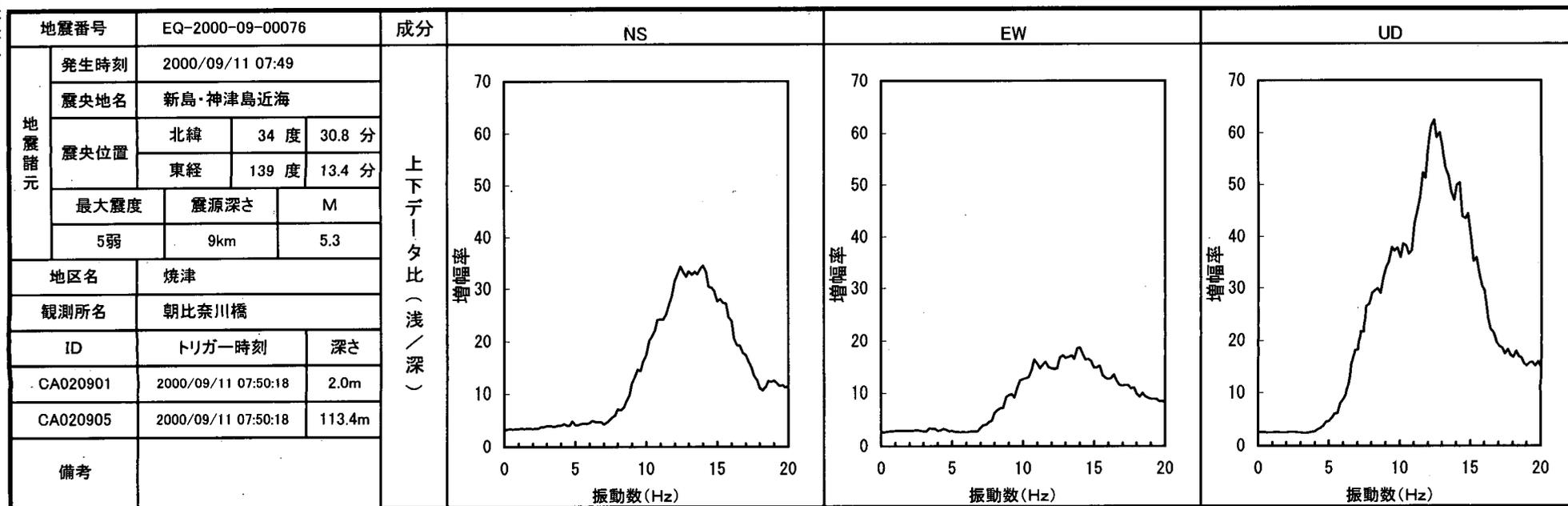
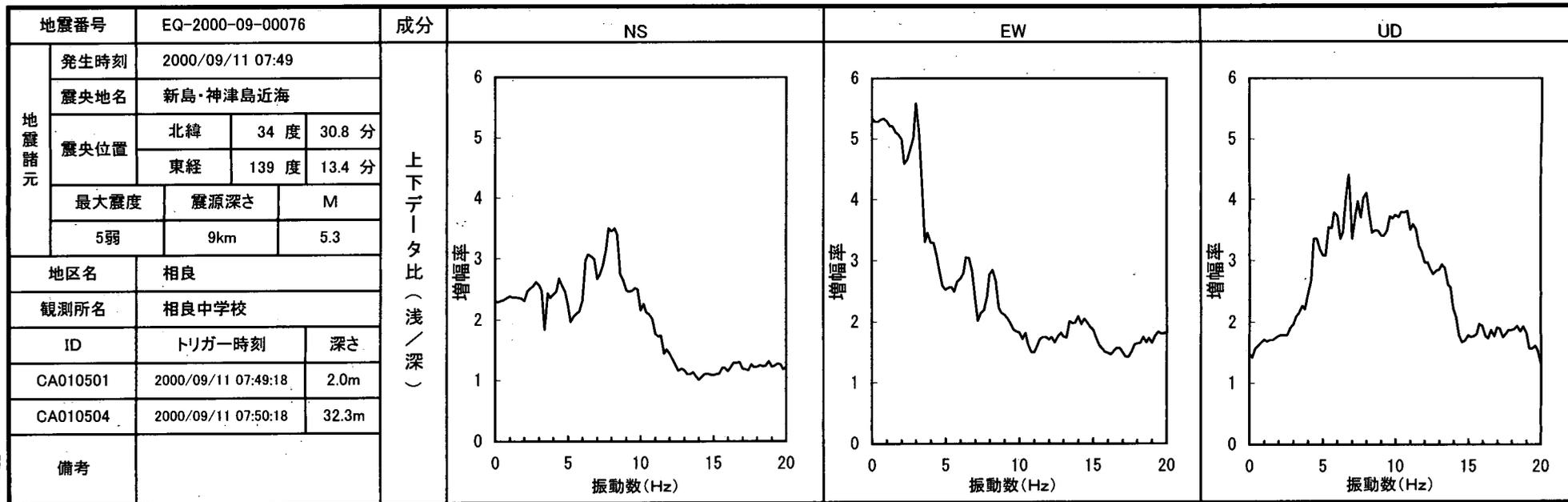


図3.3.2 応答倍率

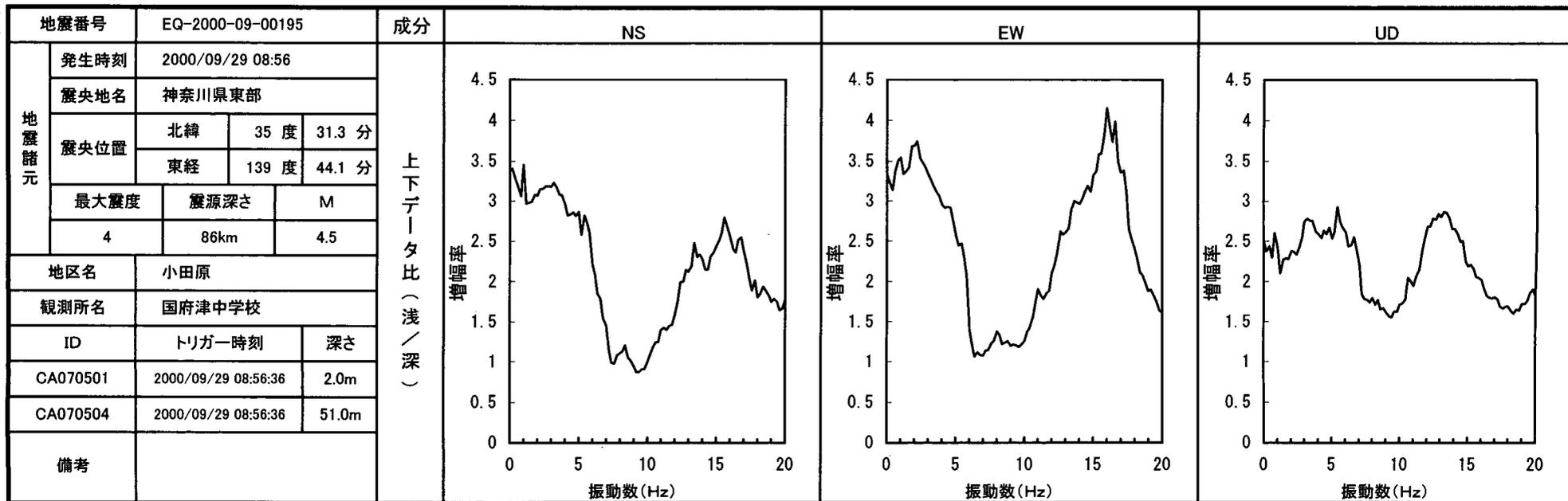
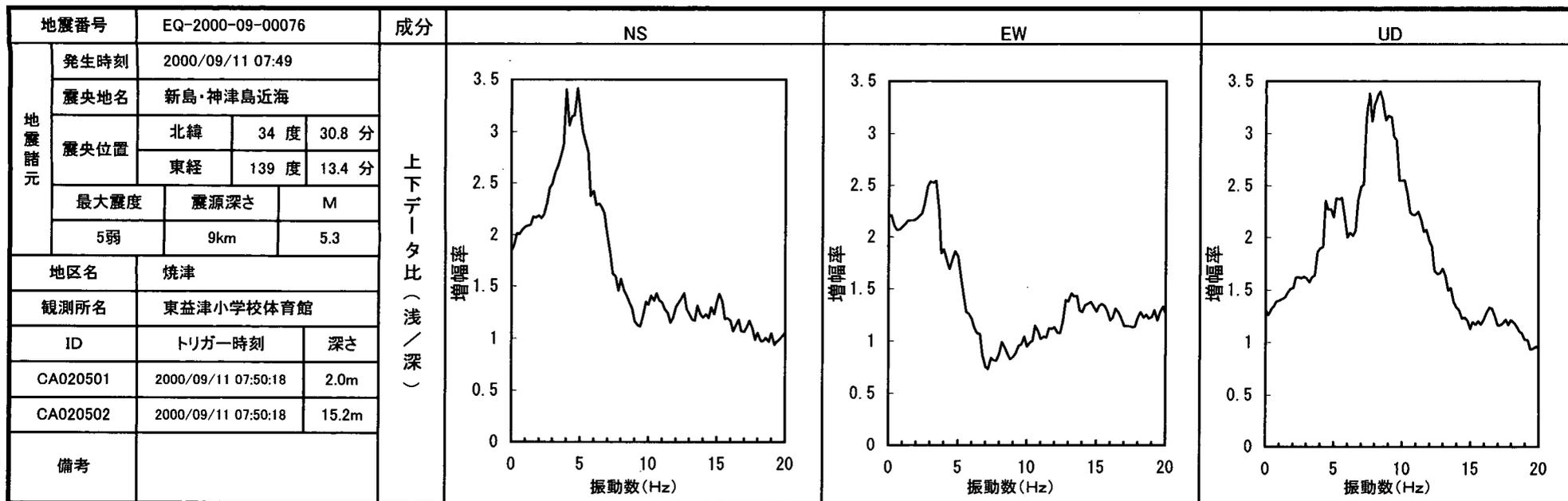


図3.3.3 応答倍率

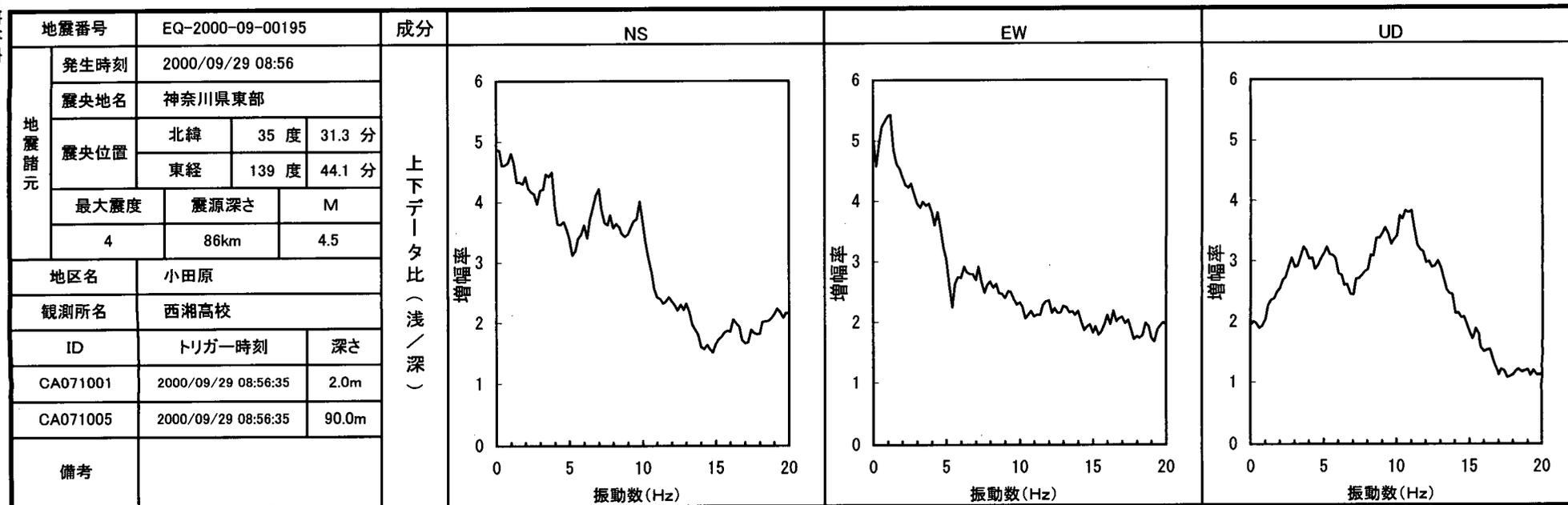
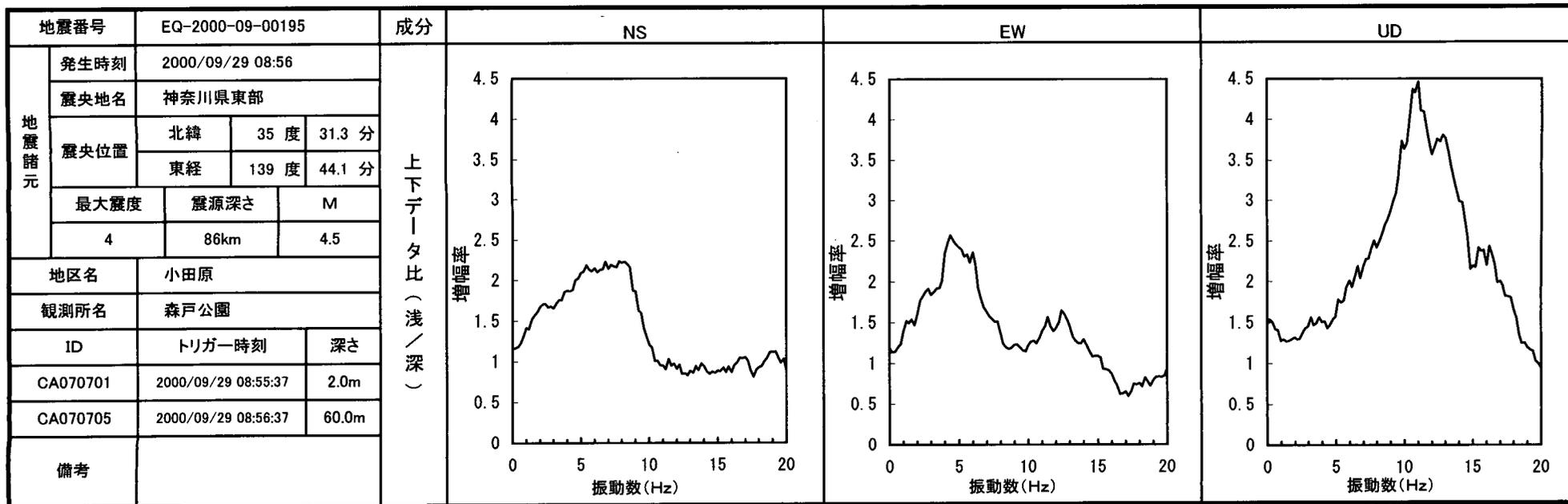
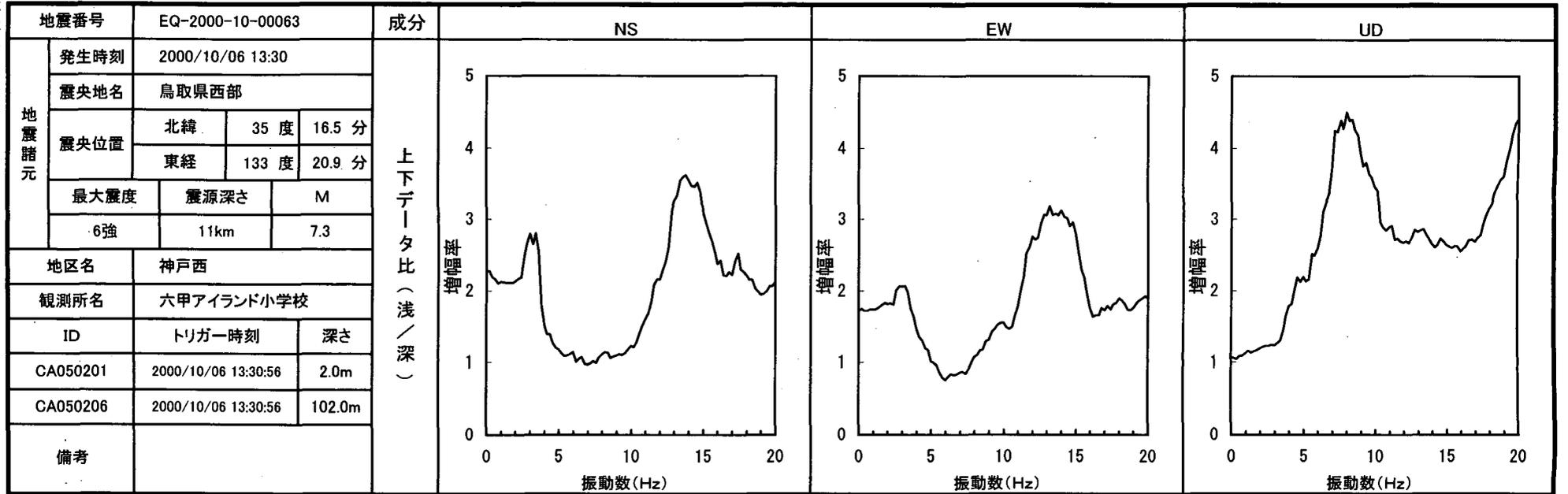
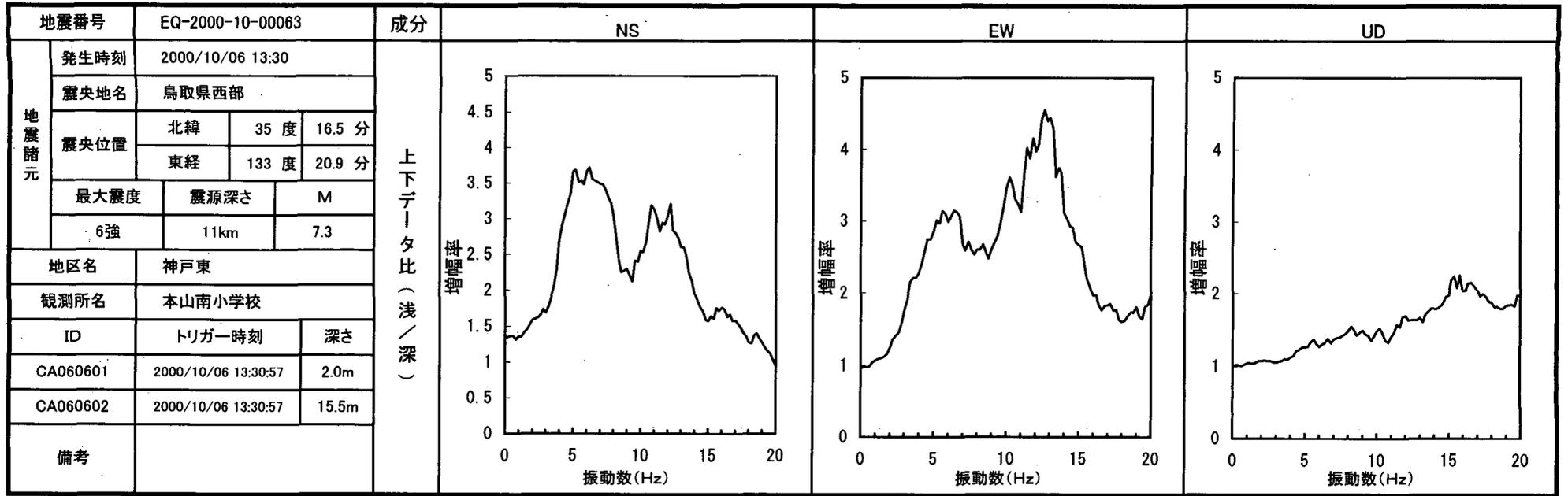


図3.3.4 応答倍率



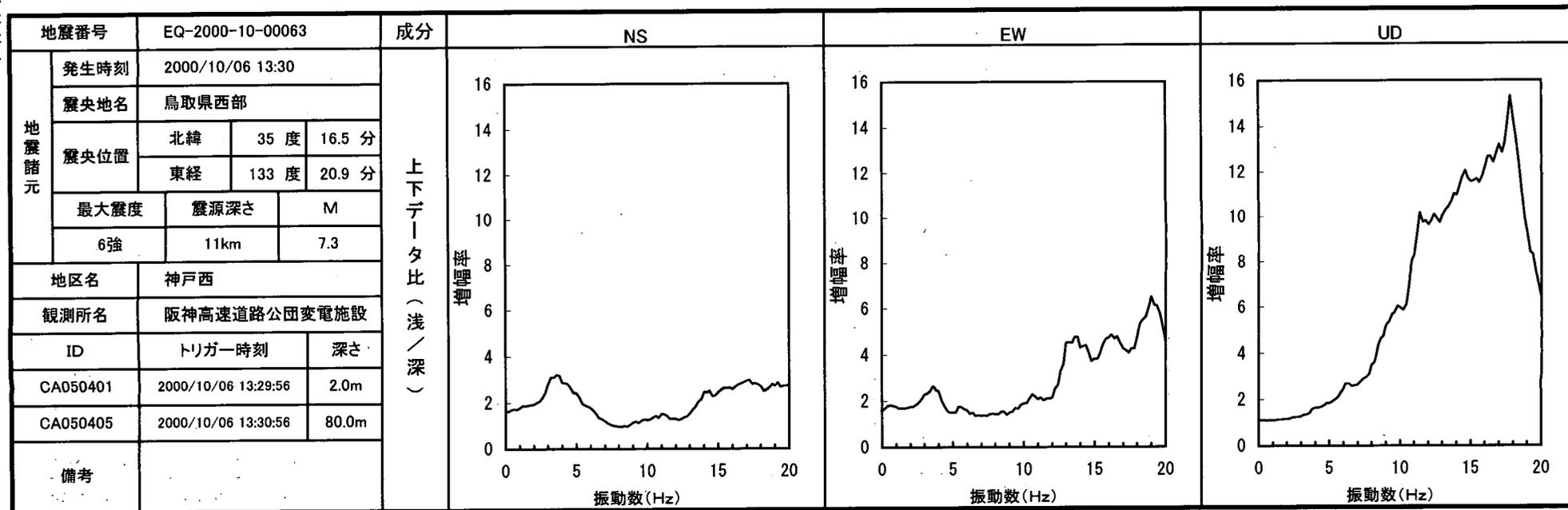
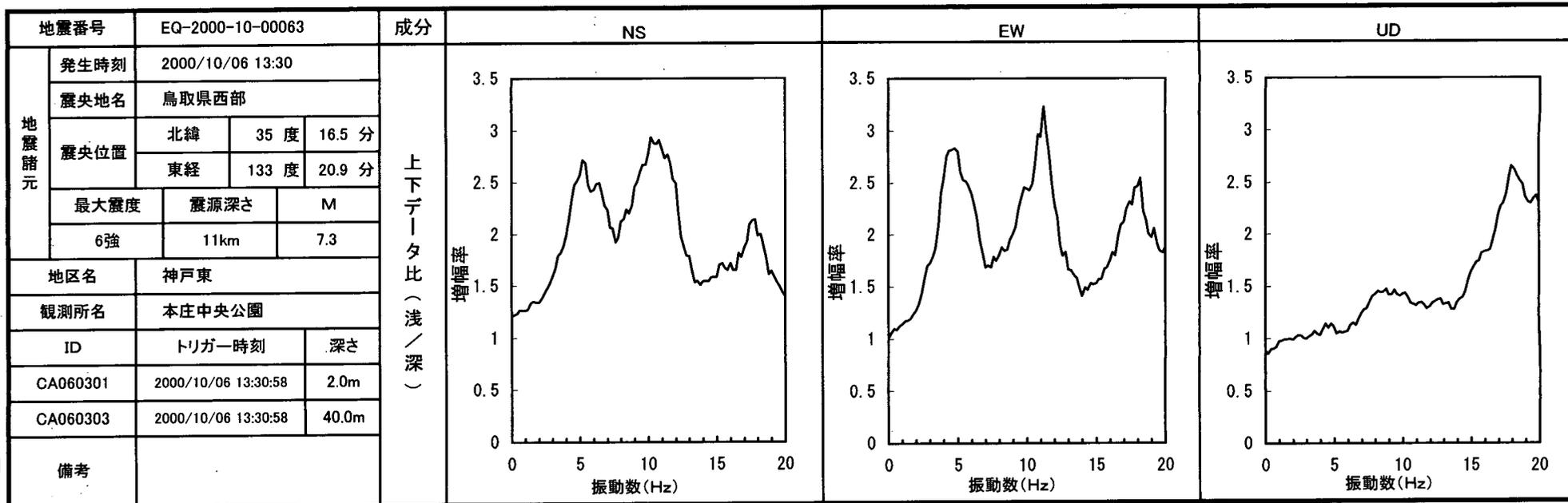


図3.3.6 応答倍率

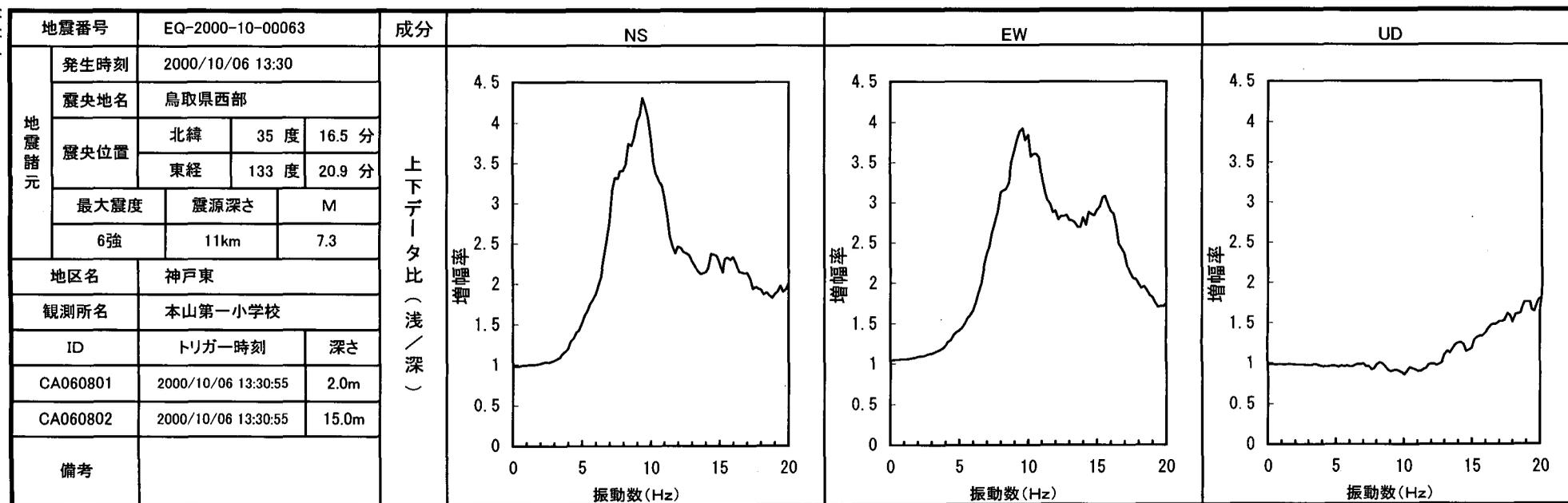
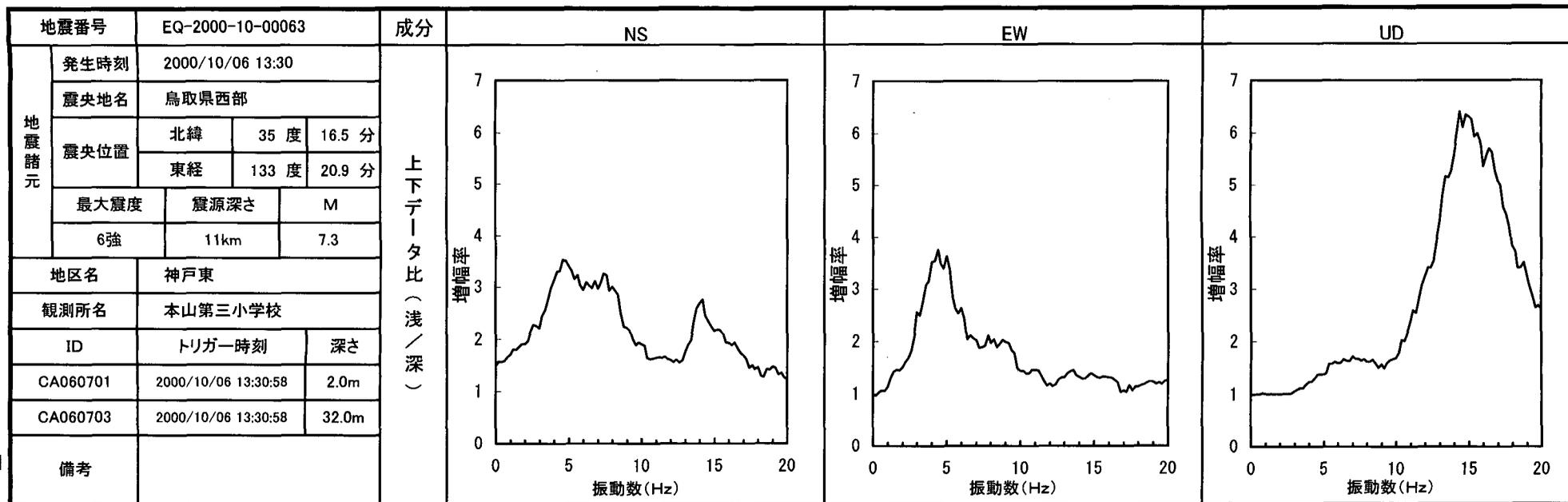


図3.3.7 応答倍率

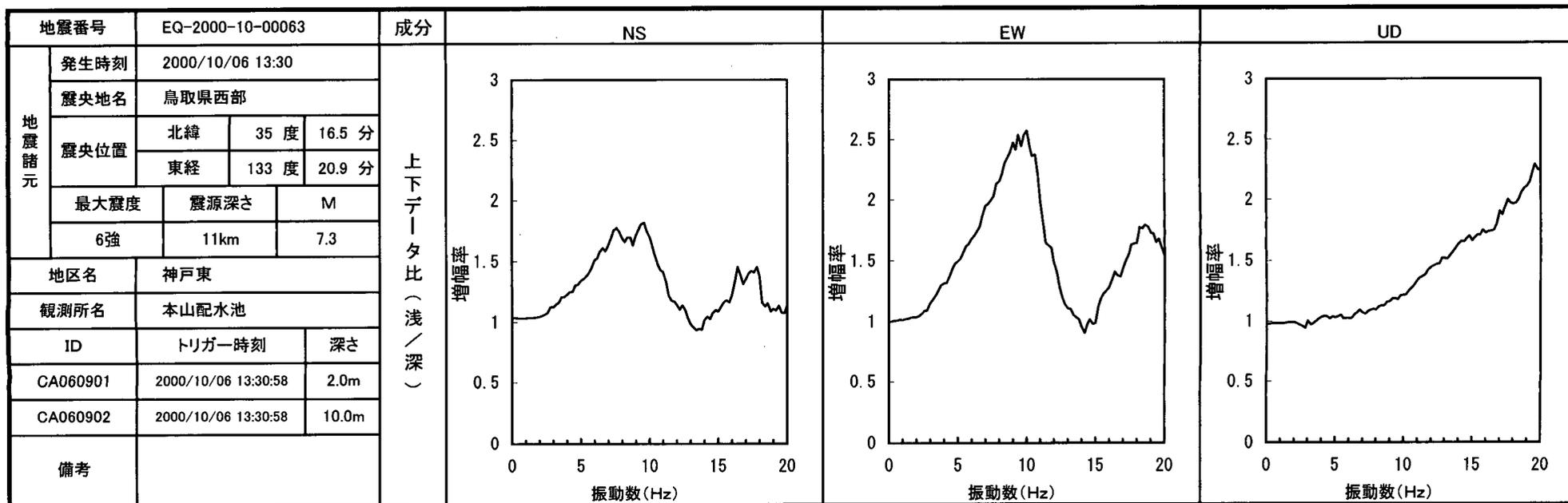
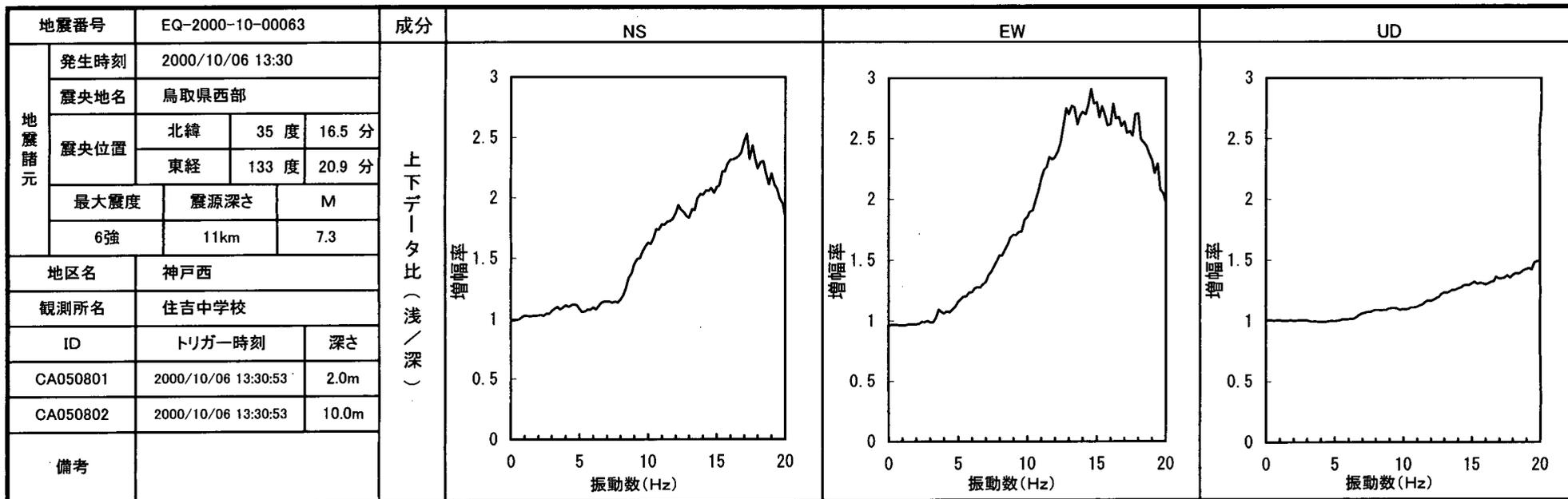


図3.38 応答倍率

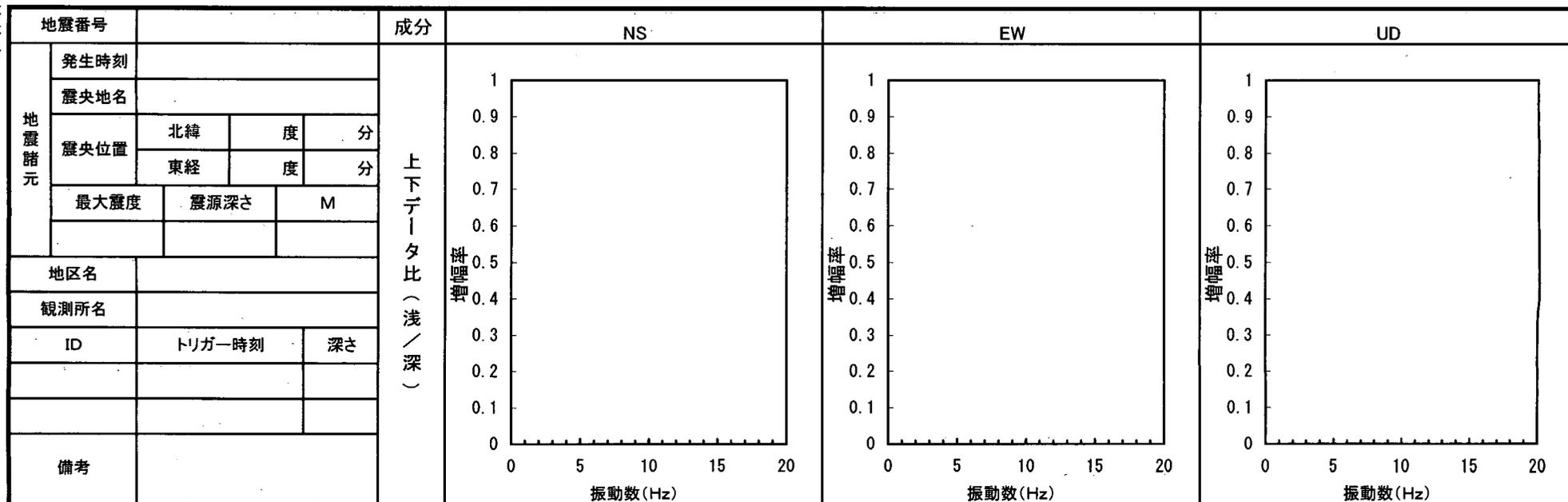
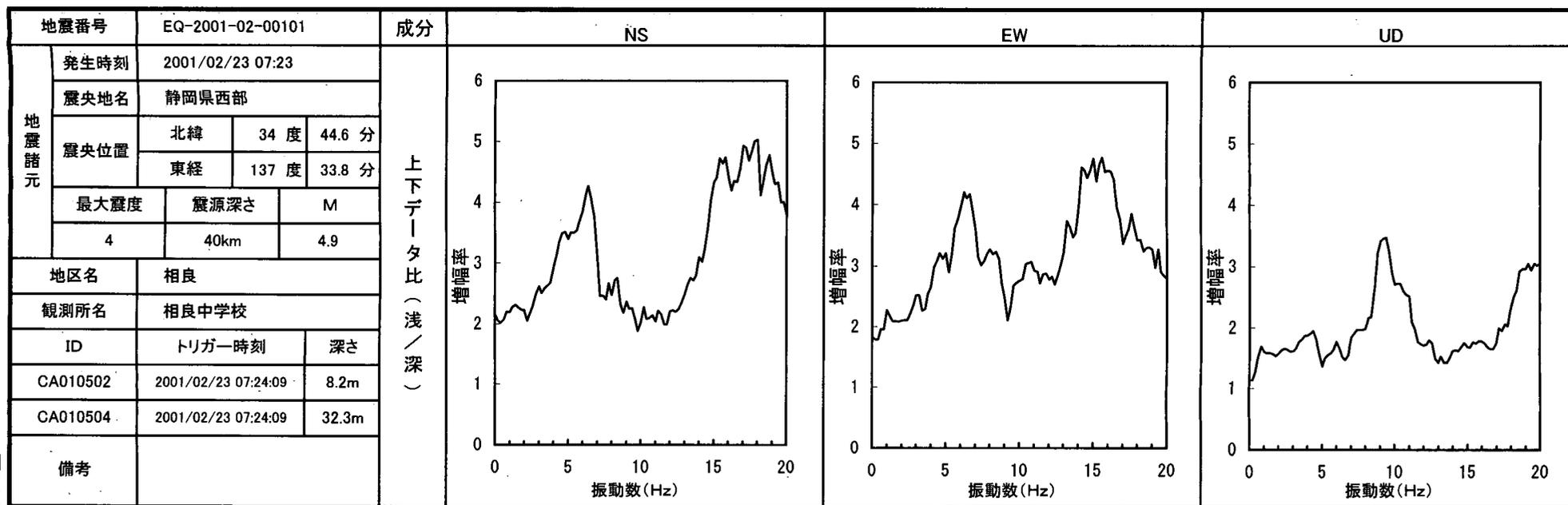


図3.3.9 応答倍率